

# コンサルティング方針

## 1. 基本的な考え方

(1) 当社の ISO 認証取得希望組織に対する指導の基本的な考え方は、『ISO は組織経営のツールとして活用し、導入することによって、その組織に何らかのメリットが生じる事を目的として指導させていただく。』ことである。

ここで、メリットとは「業務の合理化、スピーディー化、組織内のミス・ロスの減少、クレームの低減等」組織の経営に利益をもたらすことを言います。

(2) このためには、導入組織が何の目的で ISO を導入するのか、導入の目的をはっきりさせる必要があります。

(3) ところが、ISO 導入の多くの組織の中には、『ISO 導入したが、文書類が多くなった。記録も多く必要となり、ISO 導入したことにより仕事の工数・人数を必要とし、費用が増加した。』と嘆いている経営者がいます。

(4) この理由は、組織の導入目的が明確でなく、兎に角 ISO の認証取得を目的として取り組んだ結果の間違った姿なのです。

(5) 本当の ISO 取得の目的は、(1) にも記述したように、「経営の道具として、組織活動にメリットが生ずることを狙った活動とする」これによって無駄等を省き、組織に利益をもたらすことになると考えます。

(6) ISO9001 / ISO14001 が普及し始めてから、ISO の多くのコンサルが輩出し活動していますが、パートナーとしてどのようなコンサルタントを選ぶのか、これによって組織の ISO 導入の道が決まると言っても過言でないと思います。

(7) 結論を言いますと、「ISO のための組織経営はありません。ISO は組織経営、活動の一部です。ISO は経営、活動のための道具です。」

したがって、ISO の認証取得希望組織の立場に立って、役立つ ISO の導入活動をご支援するという基本方針によって実施して参ります。

## 2. 認証取得指導の進め方

認証取得に当たっては、認証取得組織が主役、我々は脇役という立場で指導します。

つまり、組織の方々の実態を活かしたマネジメントシステムの構築と運用を図ることを前提とし、経営者はじめとし、全社員参加型の指導を行います。

その進め方は、次のフェーズにより進行します。

- フェーズ1 . 全社員ベクトル合わせのセミナーの実施（一般教育）  
（ISO に対する抵抗感を取り除き、ISO 活動参加への意欲の向上）
- フェーズ2 . 内部監査養成セミナーの実施  
（ISO の本質の理解と、内部監査員の養成）
- フェーズ3 . 現状業務の分析      訪問コンサルによって実施  
（現在の仕事の流れ・手順・帳票・記録等、現状の仕事の洗い出しと、手順書の作成・制定）
- フェーズ4 . 関係規定類及びマニュアルの作成      訪問コンサルによって実施  
（フェーズ3 で判明した手順書を基に、関係する規定及びマニュアルの作成を行います。）
- フェーズ5 . 内部監査の指導及び是正処置の指導  
（内部監査の実施指導と、発見した不適合の是正処置の指導）
- フェーズ6 . 予備審査及び本審査立会サポート  
（審査機関による予備審査及び本審査に立会い、指摘された不適合に対する対策指導の実施）

以上に述べた基本的な考え方と進行管理により、短時間で、かつ、リーズナブルな費用により、確実な認証取得をお約束いたします。